

新研修プログラム「学びのカフェテリア」の設立 ～オンライン研修も交えた自律型プログラムを提供～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長:広瀬 伸一(以下「東京海上日動」))は、21年4月から、オンラインでの開催を含めた約40種類の新研修プログラム「学びのカフェテリア」を設立します。

従来の社員向け研修プログラムをリニューアルし、「思考力」や「語学力」などを身に付ける講座に加えて、DXの実現に向けた発想力強化や、コーチング技術の講座など、様々なテーマから必要な「学び」を社員自らが選択できる形式へと変えることで、すべての社員の「発意」に基づくさらなる自己成長を促します。

1. 背景

従来の社員向け研修プログラムは、会社主導による必須参加プログラムが主流であり、知識やスキルの習得を中心としたOff-JT研修の比率が高い傾向にありました。また新型コロナウイルスの感染拡大を背景にニューノーマルな働き方が加速するなかで、「学び」を得るための時間や場所の制約についても、改めて見直す必要がありました。

そこでこの度、社員一人ひとりの成長をさらに加速させるべく、入社年次や役職等にもとづく画一的な切り口での研修プログラムを見直し、新たなプログラムを導入することといたしました。

2. 「学びのカフェテリア」の概要

当社の全社員(約17,000人)を対象に、約40種類のコンテンツをリリースします。本人のキャリアビジョンや強みなどを軸に、自ら選択できるプログラムを拡充することで、社員の自発的な自己成長を促す機会を提供していきます。また、多様な社員同士が学び合い、お互いの挑戦を後押しする自由闊達な文化の醸成も目指していきます。

<研修プログラムの特長>

(1) オンライン研修プログラムを拡充

在宅勤務やテレワークの推進に合わせ、オンラインでの研修プログラムを充実させることで、研修に参加する際の場所や時間の制約を緩和します。

(2) 任意参加のプログラムを拡充

社員が自ら選べる、任意参加のプログラムを拡充することで、社員の発意やチャレンジ意欲に会社として応えながら、社員個人の専門性を継続的に高めていきます(受講を必須とする研修は、若手社員向けと管理職向けの研修の一部に限定します)。

(3) パッケージプログラムで職場のOJTの質を向上

テーマごとに、オンライン研鑽会、マイクロラーニング、コーチングなど、インプットとアウトプットの機会を組み合わせながら、これまでの研修スタイルに囚われない学びの機会をパッケージとして提供します。

(4) 社員の成長を会社の成長に繋げる戦略的なテーマを設定

ビジネス環境の変化を念頭に、「ビジネス基礎力(思考力・語学等)」「越境・創造(DX、D&I等)」「マネジメント(エンパワーメント等)」など、今後特に社員に求められる要素を6つのテーマに分類して研修のラインナップを用意することで、社員と会社がともに成長していくことを目指します。

(5) 社外・海外グループ会社との越境を実現

■ The New Ship:

株式会社ニュースピックスのプロジェクト型スクール「NewsPicks NewSchool」と新たに共同開発するプログラムで、社外有識者を招いたゼミナール形式で開催します。既に社内展開している「NewsPicks Enterprise」「MOOC Enterprise」(※)とも連動しながら、デジタルトランスフォーメーションを牽引する人材を育成します。

■ Co-Creation Program

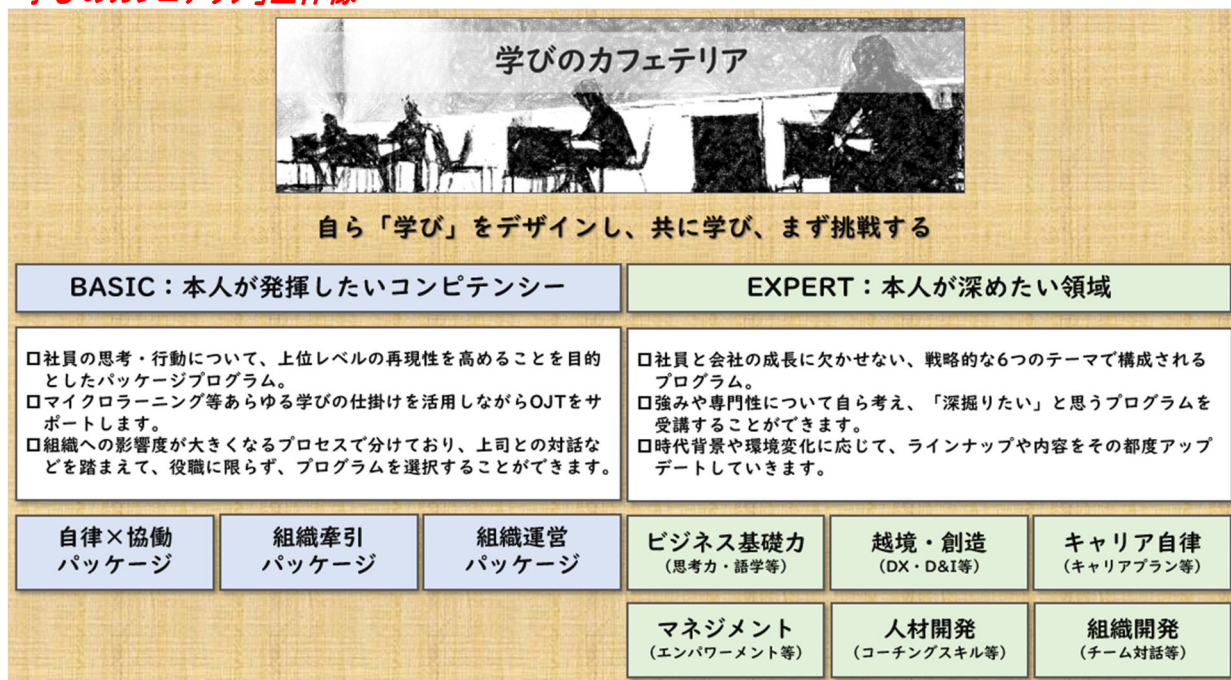
社外メンバーと共にNPO法人の課題解決に取り組むプログラム。地域・社会貢献を通じた社員のリーダーシップ開発と共に、日常業務から離れた環境での経営理念の実践を促します。

■ Tokio Marine 2100

国境を越えた全世界の海外グループ会社で働く若手社員同士がオンラインで繋がり、グループのビジョン等について語り合うプログラム。グループ、グローバルベースでのDiversity & Inclusionの進展を追及します。

(※)株式会社ニュースピックスが提供するソーシャル経済メディア「NewsPicks」の仕組みを使った企業向けの学びとつながりのプラットフォーム。「NewsPicks Enterprise」は企業ごとにカスタマイズされたアプリ、「MOOC Enterprise」は動画学習サービスです。当社では2021年4月より参加者を約3,500人に拡大して取組みを本格展開します。

「学びのカフェテリア」全体像



以上